

笑顔で再会 同郷の集い 野田はまなす会総会



発行 野田はまなす会
編集 野田はまなす会事務局
(野田村役場総務課)
☎0194・78・2111

交流会盛大に開催

去る6月21日、東海大学校友会館(東京都)で平成27年度野田はまなす会総会、ふるさと交流会を開催しました。

同会には、来賓として、ふるさと野田村から小田祐士村長、武又正人村議会議長がご臨席くださいました。

また、近隣友好団体から久慈ふるさと会、東京大野つばさ会、ふるさと普代会、久慈高校同窓会東京支部、久慈地区高校東京同窓会、東京様似会などの会長、幹事長、役員の方々にご出席賜りました。



総勢78人が出席した総会の様子

総会では、平成26年度事業

報告・収支決算と平成27年度事業計画・収支予算が提案通り承認されました。

初代会長佐藤匡宏氏の乾杯の発声で始まったふるさと交流会は、20代の若い世代の出席者やフレンドワーク野田の出稼ぎの方などを交えた賑やかな会となりました。



若い方も参加して交流を楽しみました

会場では、野田村役場職員による「野田塩ラーメン」、
「塩蔵わかめ」の販売や、野田村で活動しているNPO法人ののりのだ物語の職員によるストールやコースター、キーホルダーなどの販売が行われ、たくさんの参加者が野田村の特産品や、村の人が作った作品を買い求めていました。

交流会の恒例となった「123☆45」さんによるコントでは、田舎と都会をテーマにした内容で共感を呼び、会場には笑いが絶えませんでした。



▲コントに爆笑



◀写真左が野田村出身のイズミさん、右がコンビのヨーコさん

毎年人気の「福引き」では、急きょ会場で小田村長から景品が追加されるなど、嬉しいサプライズもありました。
交流会は、参加者全員による「野田中学校校歌」の合唱で締めくくり、その後、総会会場近くの「さくら水産虎ノ門店」で二次会を開催し、顔を合わせる貴重なひと時を楽しみました。

ごあいさつ

野田はまなす会
会長 桜庭 昌 吾



初秋の候、夏の猛暑を無事乗り切り、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。皆さまには、6月21日開催の野田はまなす会総会、交流会にたくさんの方々のご出席をいただきありがとうございます。78人の参加者でした。小田祐土村長、武又正人村議会議長には、ふるさと野田村から遠路おいでいただき、会を盛り立てていただきまして感謝申し上げます。皆さまからいただいた「十府ヶ浦公園整備、緑化協力金」は、総会場で全額を小田村長に贈呈することができ、良かったです。会員の皆さまにお礼申し上げます。皆さんが野田に帰った時、形になって目に見えるようにならないか、検討していただきたいと考えています。



野田港(新山)の防波堤

何軒も建ち始めていました。高台への移転も順調に進んでいるようです。新山の野田港は、今までの防波堤にさらに約3倍も積み上げた高さにしてありました。新山から前浜、米田浜へとあつた今までの防波堤より一段と高く頑丈に造られていました。津波前に見ていた今までの風景は一変してしましました。津波から生き残った松の木が何本か残っていました。十府ヶ浦を見渡す風景がどんな形で落ち着くのか予想がつきませんでした。

今年の帰省は高校野球岩手県予選に合わせ、少し早めて7月14日にしました。母校、野田中学校の多くの後輩たちが高校生になり、高校野球ではつらつと頑張っていました。岩手県営球場と花巻市営球場に通い、炎天下応援しました。久慈地区にある久慈高校、久慈工業高校、久慈東高校とどの高校にも勝つて欲しかったのですが、久慈東高校は2回戦第2シード校の盛岡大学附属高校に3対2の接戦で惜しくも敗退。ふるさと野田村にある久慈工業高校は、4回戦まで進みましたが、第1シード校の一関学院高校に4対1で残念ながら敗れました。一番勝ち進んだ私の母校である久慈高校は、5回戦まで進みましたが、盛岡北高校に6対3で惜敗し、ベスト8に残りました。野田中出身の菊池選手は投打に活躍していました。駄弁が長くなりましたが、今年も皆さんと共に楽しい会になるよう、役員一同頑張りますので、ご協力ください。10月4日(日)の「日帰りレクリエーション」には、是非ご参加ください。お待ちしております。

第2回役員会開催

8月2日、東海大学校友会館(東京都)で野田はまなす会第二回役員会を開催しました。役員会では、6月7日の「岩手県人の集い」への参加報告について、桜庭会長が県組織部長に再任されたことについて、県連合会創立40周年記念誌が作成中であることについて報告がありました。協議では以下のことが了承されました。

(1) 総会、交流会の反省では若い方の参加者も増え、78人の参加で、和気あいあいで盛

- 会であった。物産即売会はもっと宣伝した方が良かった。
- (2) はまなす通信51号は9月初めに発行する。
- (3) 日帰りレクリエーションは、10月4日(日)午前10時集合、神奈川幹事担当で横浜の見学と懇親会とする。
- (4) 平成28年度

十府ヶ浦公園整備 緑化協力金 637,000円を贈呈



6月21日、野田はまなす会総会の壇上で、会員の皆さんからいただいた十府ヶ浦公園整備緑化協力金が桜庭会長から小田村長に贈呈されました。

◀協力金を村長に手渡す会長



協議終了後の懇談

総会・交流会は平成28年6月19日(日)午後1時からとし、今年と同じ会場で開催とする。協議終了後には、野田村特定課題対策課の明内課長・廣内総括主査と野田村について懇談を持ち、ふるさと創生に係る意見や要望などを出し合いました。今後は具体的な提言ができるよう当会でも考えていききたいと思います。

「私の仕事―建設業務に携わって」 ―いつも青年の心意気で―

横町出身 山根 正信



私は、昭和40年3月野田中学校卒業、昭和43年3月久慈高校建築科第2回卒業です。東京での就職のため、不安を抱きながら昭和43年4月1日朝、上野駅に着きました。就職先の出迎えは誰もいないので、自分の力で世田谷区祖師谷の会社まで行かなければなりませんでした。

ずいぶん時間が過ぎて、目指す会社に着いたのは、夕方5時頃でした。会社の人は、ぼちぼち帰る頃でした。生まれてからずっと住んでいた故郷の野田村には、自動車も電車もなく、乗り合いバスだけでした。毎日バスで久慈まで通学していた田舎者が、いきなり東京で、電車に乗り、しかも山手線から、新宿で小田急線に乗り換え、祖師谷大蔵で降りて、地図もなく、番地だけを頼りに探し歩くにはとんでもなく大変なことでした。普通に移動すれば1時間半くらいで十分な移動距離です。

赴任一日目にしてこんな状況で、これからの人生の未来に暗雲が立ち込めるかのよう

な、不安な第一歩を踏み出しました。会社は、木造住宅を中心とする20人くらいの工務店で、会社の2階、六畳一間に二人同居して、自炊生活が始まりました。自炊したことがなく、洗濯から掃除、すべてが初めての生活でした。

そんな状態でも、向学心があり、新宿の工学院大学の夜間部に通っていました。当時新宿西口は、淀橋浄水場跡地に超高層ビルの建設が相次ぎ、当時は京王プラザホテルが建設中でした。それらを毎日見ていて、木造建築でなく、ビル建設をやってみたいという思いが強くなりました。

大学を卒業したのをいい機会に、昭和49年2月、清水建設に途中入社しました。最初に配属されたのは、川崎製鉄所、千葉工場の6号高炉建設工事で、当時世界最大の溶鉱炉建設工事でした。次は、東

京都足立区中川下水処理場建設工事で、敷地40^{ヘクタール}でした。この2棟で約10年掛かり、会社を定年するまでに、何棟の建物ができるのか不安になるほどでした。

その後の主な建設工事、または関係した建物は、三井本館建物保存工事、丸の内にある新大手町ビルリニューアル工事でした。他に赤坂溜池タワービル、ヨコソーレインボービル、六本木ヒルズの超高層マンション棟などです。

平成18年から本社勤務になり、建物の維持管理・修繕・クレーム対応を行う部署の保全管理者になりました。60歳で定年し、さらに嘱託として65歳、平成26年5月に退職するまで、保全業務を担当していました。

私は人に優る能力は持っていませんが、東北人の粘りで、他人より努力すること、人一倍頑張ることで、どうにか無事定年まで勤めることができました。この気持ちは今も同じです。現在はマンション管理会社で働いています。生涯青年の心意気で、これからも努めてまいりたいと思っています。

第41回 岩手県人の集いに 参加して

副会長 坂本 悟

平成27年度岩手県人の集いが6月7日、日暮里のホテルラングウッドで開催され約90団体から400人以上が集いました。私たち野田はまなす会からは、桜庭、久慈、坂本、諫山、小谷地、明内の6人が参加しました。

3・11の被災者へ黙とうを捧げて始まった集いでは、会務報告がさらりと進み、岩泉町小本に伝わる「中野七頭舞」を踊る若人の力強さに元気をいただきました。

懇親会では、アトラクション、宮古出身の金澤未咲歌謡ショーがあり、素敵な歌声を聞きながら食事を楽しみました。大変盛会でしたが、若い人にも参加して欲しいなと思いが散会しました。



達増県知事と参加者（前列左から2番目が筆者）

第16回全国中学生軟式野球大会 野田中チームを応援!!



▲急ぎょ結成の応援団

平成27年3月21日、千葉県柏市の松葉球場で、「IBA-boys 中学部第16回全国中学生軟式野球大会」が行われ、野田中学校と三崎中学校の合同チームが県下20チームを勝ち抜いて、岩手県代表として出場しました。

私たち野田はまなす会でも役員を中心に、急ぎょ応援に駆け付けました。



絵でつづる ふるさと野田村の風景 (その8)

「烏帽子岩」～玉川海岸～

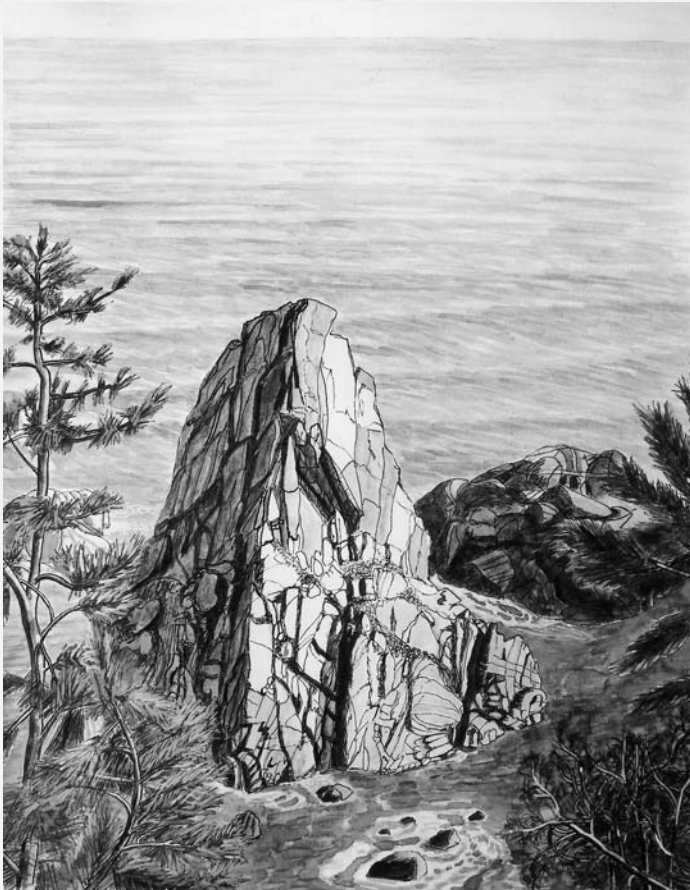
(文と絵) 桜庭 昌 (中新山出身・野田中昭和33年卒)

奇岩、怪岩の多い三陸海岸にあって、野田の海岸で奇岩が連なっている場所と言えば、玉川から下安家にかけての玉川海岸です。なかでも、目を引く奇岩は「烏帽子岩(えぼしいわ)」です。烏帽子岩とは、昔の貴族などがかぶった帽子にそっくりなために付けられた名称です。

烏帽子岩のある所は、玉川海岸を代表する景勝地です。ところで、烏帽子岩と名のつく奇岩は、全国各地に存在しています。有名などころでは神奈川県川県茅ヶ崎市の湘南のシンボルと呼ばれる烏帽子岩、岩手県内では盛岡市の櫻山神社境内にある烏帽子岩などです。いずれにしても、玉川海岸の烏帽子岩が全国一烏帽子に似ていると思われ

ます。多くの人が「烏帽子岩」を知り、昭和48年に国民宿舎「えぼし荘」が開業することによって思われます。その頃は、「えぼし荘」と名がついていることに、不思議に思った人も多かったのです。そのうちに村民や観光客に徐々に知られるよ

うになり、十府ヶ浦海岸や大唐の倉と共に野田村を代表する景勝地になりました。「烏帽子岩」は玉川海岸の「えぼし荘」入口近くの国道45号線沿いの崖下の海の中にりんとして立ち、見る人を飽きさせません。ぜひ、全国から多くの人に訪れて欲しいと願っています。



日帰りレク参加者募集

横浜・港の見える丘公園

元町商店街散策
中華街で食事

「横浜・港の見える丘公園」とまわりの洋館、元町商店街を巡って中華街で食事」を計画しました。知り合いを誘い合つて多数ご参加ください。

■日時

10月4日(日)10時集合

■目的地

「港の見える丘公園」「元町商店街」「中華街」

■集合場所

みなとみらい線終点駅「元町・中華街駅」5番、6番出口

■費用

食事代(約2千円)、交通費各自負担

■申し込み先

※参加者は早めの連絡を幹事長 久慈士郎

久090・5567・5795

担当幹事 大沢直人・志村良子

大090・8644・8673

志090・4134・2239

あとがき

▼ふるさとの嬉しいお話
三陸鉄道北リアス線の新駅が2億6千万円の事業費で米田地区に設置されると報道されました。2016年度中の完成を目指すとのこと。

交通の便、三鉄利用者拡大、地域振興に寄与するものと期待しています。▼いつでも安心・安全の野田村。高さ15階の津波避難ビルが城内地区に建設されることが議会で可決されました。

一階に保健センター、2階に展示室、3階が避難スペースで135人収容可能。屋上にも(高さ12階)避難できる。安心して城内に買い物に行けることは大事なことです。岩手銀行野田支店が本町中心街に7月21日にオープンしました。

▼新しい野田村村議会議員12人が7月26日に決まりました。みんなが希望を持って輝けるふるさとの村づくりを期待したいです。

(S.S.)